

特急列車

田中浩司

特急列車の座席にすわり

ぼくは前方だけを見ている

別れるとき

君はホームで

「バカ。死ね」とぼくに言った

結婚している人を愛してしまった

ぼくには君のこの言葉の意味がわかる

君は父親から虐待を受けているぼくの

相談に一生懸命に話を聴いてくれた

君の言葉は

「応援しているよ。自信を持ってね」

と言っている

君はぼくを好きなのに

嫌われていいと覚悟した

父は血便が止まらない

一カ月前 腕時計を外し

「やるよ」

と言ってくれた

形見だろう

そんな物 川に捨ててやった

君は恋愛という浅いことよりも

ぼくの人間としての強さに気付き

ぼくを追い出してくれた

ぼくは二度とこの地には帰ってこない

特急列車は猛スピードをあげる

君のことは忘れない